

議会だより せら



■今月の主な記事

い いみんな みんなよろこぶ

- 当初予算113億34百万円で出発...2~3
- 物品購入等の調査特別委員会を設置...4
- 議案を修正・差替5
- 報告します 委員会は今6~7
- 一般質問 (14人が登壇)8~15
- 元気な人紹介16

まちをよびよる
かわいらしい笑顔に
詩つ笑顔

No.21 平成22年5月14日発行

メールアドレス gikai@town.sera.hiroshima.jp

よろこぶ

4百万円 可決

第1回定例会

活発に議論の20日間



初日の本会議で議長から負託されたH22年度予算(案)は、3月16日から3日間、施政方針と予算の概要から始まり、議員よりあらゆる角度からの質疑が続いた。日頃から住民の意見を蓄えてあるためか、要望などの意見も飛び出したが、合併後で一番少額の予算でもあり、緊急対策補正で対応する執行部との議論は白熱したものになった。

平成22年度が出発

未来創造計画に期待

地域再生活力と施策の選択と集中

歳入見込み

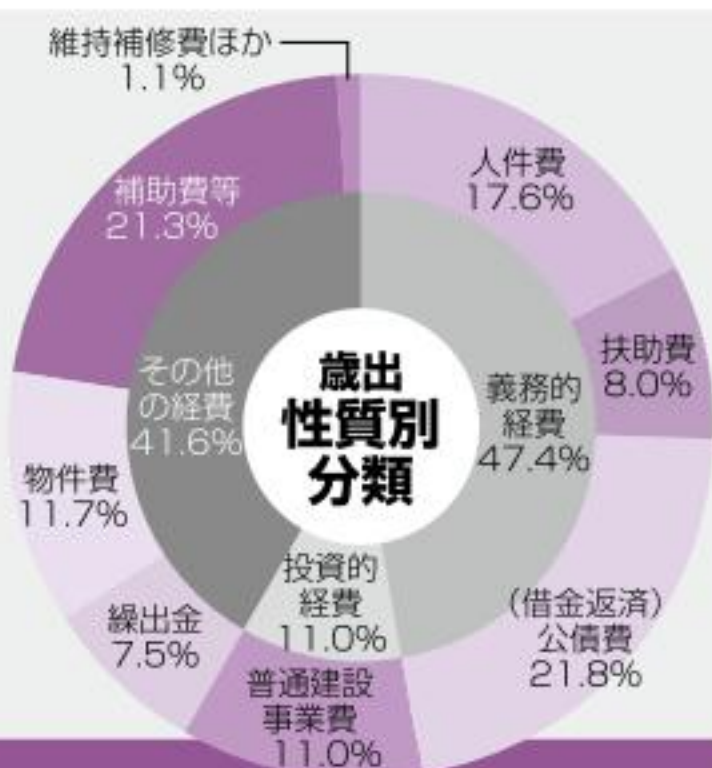
町税は現在の経済情勢の中で増加は期待できず、雇用不安も含め景気の回復に期間を要すと考えられる。地方交付税(国からの財政援助)の配分も総額確保はしてあるが、代替措置の臨時財政対策債に大部分が転化されると想定する。

昨年度の主な繰越金

国の経済対策での事業繰越(きめ細やかな臨時交付金3億超)で地元事業者への受注に努め地域活性化に取り組む。

単位:万円

歳出予算額	
公債費	247,425
民生費	179,406
衛生費	174,944
総務費	165,679
農林水産業費	119,139
土木費	90,829
教育費	84,602
消防費	41,100
議会費	8,457
商工費ほか	21,819
合計	1,133,400



の内訳

(注) 通常、繰越金とは、町の決算剰余金(歳入決算額から歳出決算額を差し引き、翌年度で使用する特別な財源を控除したものであり、実質収支とも言う。)が、ここでは、国の経済対策で年度末に交付金が決めたため、翌年度において繰越して事業を行うもの。

一般会計 11億3千

本町農業の10年先を見通した振興計画の策定。未来創造計画と全町農村公園化の策定にどう向かうのか。答弁ではこれから町民の意見を参考にし、国の動向も視野に入れた計画の検討をする。

11箇所の自治センターが指定管理となるが、住民発意による特色ある地域づくりに具体的な支援を行う。

上水道・簡易水道では西世羅地区の供用開始後、要望路線の管布設の取り組みの質疑に対し、

施政方針と予算に対する質疑

東・中央地区への整備を進めるとあった。

指摘点がポイント

- 駅伝の里の表記がない。
- 将来的に財政負担のいる事業は債務負担行為として示すべきだ。
- 町民課と保健福祉課で共通する事業を一本化し検討すべき。
- 下水道事業と合併浄化槽の見直しを進めていくべき。加入見込みを調査の上で設計してはどうか。



第1回フラワー王国せら高原夢まつり

主な事業(抜粋)

子育て支援として中学校修了前までの子ども手当支給や少子化対策支援を充実し、マイ保育園制度も実施。

集落内に農業後継者を確保するため、月に15万円の人件費助成を行う。ただし法人へのUターン者に限ったもの。企業の農業への参入を促進し活性化に努める。

学校統合にあと一年と迫り環境整備が急がれる。H23年からの新学習指導要領導入への準備が進む。

反対討論

矢山 高齢化・過疎化が進みもっと希望のものをまちづくりが必要。実質公債費比率を18%と言うだけでなく今後10年間の基礎づくりを計画的に進めるべきだ。

安佐 公共工事の予算の組み方にも整合性がないところがある。とにかく町民が納得できる予算にすべき。

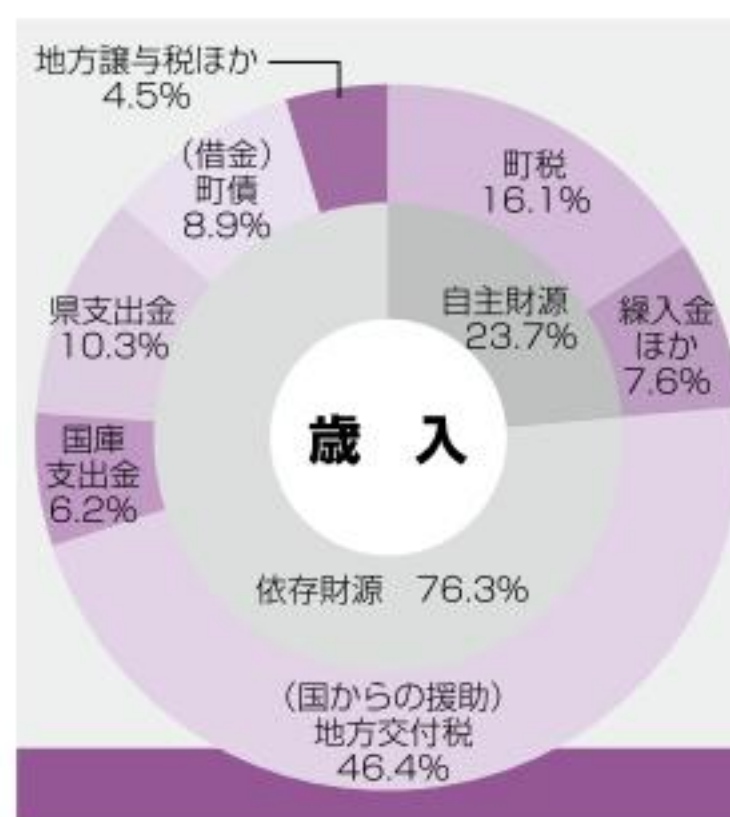
賛成討論

永田 合併後、最低額で提案された。取り組み課題は山積。歳出面を再度精査され、従来の概念にとらわれず、サービスの後退を招かないよう努力を重ねていただきたい。

福田義 汚水処理計画により、町の中心部には上下水道のライフラインの整備により発展が可能となる。加入促進も含めサービスの公平性の確保が必要。

西田 財政健全化への道筋が見通せる予算。経常経費削減で得た額で最大の効果を生み、予算審査で指摘した事項に基づき執行されたい。

徳光 全町農村公園化をはじめ子育て支援・地域医療・高齢者福祉や農業振興に新しい希望のもてる予算となっている。



歳入予算額		
町 税		182,334
緑入金ほか		86,264
地方交付税		526,000
国庫支出金		70,683
県 支 出 金		116,330
町 債		100,300
地方譲与税ほか		51,489
合 計		1,133,400

一般会計

議論の白熱で

H22年度の施政方針と予算審議が中心の3月定例議会を3月4日開催した。4・5日は一般質問（詳細は6・14頁）8・9日はH22年度当初予算（予算審査特別委員会へ付託・最終日23日採決。詳細は2・3頁）を除く21議案を可決した。また23日には当初予算（10件）に加え、教育委員の選任同意ほか4件の追加議案を可決し閉会した。

審議の過程で、「監査委員の指摘事項への対応が不透明」と議会が反発。これについて調査特別委員会を置くこととした。また指定管理者の選任（2件）では、内容が不明確なことから一件は修正提案、もう一件は提案前に議案書の差替えが行われ議論が白熱した。

物品購入等調査特別委員会を設置

前述の物品購入等を調査する事を目的とした理由として、コピー機の導入には、導入伺書・見積り書・契約締結伺書そして契約書の順にされている。合併前の物もあり、保管場所も不明確で料金体系も時期や型式によりまばらで現況がつかめていない面が多い。

・学校などで93台が設置。今後の負担や契約について望ましい体系も含め調査する事とした。

リース期間終了後に町へ譲渡するものや再リース、導入時に無償で交付設置（無料で保守は別途契約）などさまざまなである。本庁舎や支所、自治センター

予算に関わる条例可決

- 心のふれあい相談員1名を甲山中学校に配置し町内の小中学校の子どもと保護者の相談に校長先生の依頼により対応。他にふるさと夢基金事業審査会委員5名、CATVを充実させるため2名の嘱託職員も配置する。
- 地域活性化推進基金を1億円積立てしていた。事業充当しH21年の一般会計に繰入れた。
- 県営土地改良事業の受益者から徴収する賦課金（補助対象費に12・5%以内）と建設

時間外代休時間の新設へ

職員には振替休日や代休制度があるが、時間外に勤務した場合を代休として取得できる事とする。この事で時間外の縮減にはなるが、管理する側の責任は増すと考えられる。

公営企業職員（上下水道課）の給与は一般職員に準じて支給していたが、条例にて準用関係を明確にするため改正となった。

事業の分担金の率も可決。

●町営土地改良事業の黒淵2号水路を8m延長し用水路をもうける

工事と、徳市地区の農業用排水路整備を交付金での計画を廃止し、地元による維持修繕で対応する旨、了承した。



八田原グリーンパーク オートキャンプ場

教育委員会委員の任命選任に同意

（賛成14・反対1）

◎教育委員

米重典子氏（世羅町大字西上原）
教育委員5名中、前教育長の任期切れで1名空席となっていた。

任命期間

H22年3月24日からH26年3月23日まで

指定管理者の選定

議案を修正・差替

「せらにし青少年旅行村いこいの広場」の指定管理者選定が提案された。旅行村は「施設のあり方を基本的に検討」としており、範囲を明確にすることを求めた。これに対し町長は修正提案を行った。

「八田原グリーンパーク」の指定管理についても、範囲を明確にするとして、提案前であったため、議案の差替が行われた。

せらにし青少年旅行村

中核施設のクアパルクに不具合が発生。議会の調査で、①町は多額の投資を理由に、方針を決めかねていた。②地元は愛着ある施設として再開を要望していた。

こうした状況下での提案に①施設の再整備の方針。②対象施設の範囲を追求。町長は休憩を要求し、調整を図った。

再開後、「方針の定



再開された せらにし青少年旅行村

まらない施設と地元利用が主の施設」の除外を明確にした修正案を提出。

議会はこれを許可するとともに可決した。

八田原グリーンパーク

旅行村での審議をふまえ、除外施設を明確にする議案書に差替えて提案。

公募の結果、現在の指定管理者と新たな事業者の応募があり、選考の結果、新規事業者を選考した。

不適当な答弁が混乱を助長

最終日の23日、「せらにしデイサービスセンターの無償譲渡」が追加提案された。

土地は有償貸付とするものの、建物とその付帯設備は無償で譲渡するもの。

議員からは①仮に事業者がデイスサービスを撤退した場合どうなるのか。

議会は、①現指定管理者に相当な瑕疵がない限り継続。②現指定管理者に優る点は。③現在までの投資への評価などを追及。

町長及び担当課長は「選考委員会での結果」との答弁に終止。議論はかみ合わないまま採決となり、賛成8、反対6で可決した。



せらにしデイサービス送迎

②その場合、利用者や利用を希望する人にどう対処するのか。事業の継続性をどう担保するかが問われた。町長は「町の責任で、事業は「町の責任で、事業サービスは継続。」との主旨を答弁。総務課長は「一定期間内に事業廃止した場合は違約金を求める」と答弁。

議会は「所有権など

の権利が町にあれば、答弁は納得するが、権利が民間に譲渡された後に拘束はできない。」と適切な答弁を求めて反発し、混乱をまねいた。

休憩の後、議会の指摘については「譲渡契約で明文化する」との答弁があり、一定の理解が示され可決した。

報告します

委員会は今

産業建設常任委員会

問題山積み 早期解決に向け徹底議論

地域産業の動向は

県の指標は回復状況にある。自動車関連業は、回復傾向にあるが、町内においては未だ厳しい状況。

再就職活動にあたって、苦労された人が多くありハローワークとの密接な連携により、課題の解決を図る必要がある。

●現地調査

工事現場の状況は

町道の改良工事の安田徳市・江之河内本線と、災害復旧工事現場2箇所を視察。陳情案件の新川通り側溝の現地確認、説明を受けた。改良工事の進捗状況は70%。災害復旧の現場は完了状態であった。

●事務調査

野積みにされた堆肥

県は2回の改善勧告。不法投棄対策班による巡回(週1回)による5回。委員会は生活環境を守る条例を議論し、早期制定を目指す。併せて業者に営業努力を促す。
宇津戸地区臭気公害



アップルロード災害復旧現場を視察

総務文教常任委員会

統合目前

子どもたちの教育環境を…

●現地調査

町内の交通体系は

デマンド交通(せらまちタクシー)は、利用者が金曜日に多くあり2百件を超える日もある。その他、町内にはバス路線が9路線あるが過疎化が進み不採算路線の廃止など危惧される。今後どう住民の交通手段を確保していくのが課題。

福祉の現状は

サンシャインせらは、入所者が介護度4~5の方が60~70%。認知症など重度のケア

が問題化していた。

在宅介護も重度化し、生活が難しくなるケースもある。地域の支え合いが必要とされている。

●事務調査

小学校統合計画・ 教育環境は

統廃合される小学校の統合計画について調査。

統合時に30人を超える学級数は3校で6クラスある。

対策として、状況に応じた最善の指導方法を学校に選択させ、そ



サンシャイン施設見学

の学校に対し臨時的任用教員(4~5名)の加配措置や、少人数指導に適した施設の確保をする。

進捗状況は、現在、校章・校歌を公募中。制服制を導入する。委員会では、統合に関し諸問題が山積しており、今後も調査する。

尾道松江線調査特別委員会

インター北側を円満解決

事業の進捗状況は

赤屋工区で工事が遅れているが盛土などは現在順調に進んでいる。

これからの取組み

インターチェンジ以北側の未契約用地が8件あり、うち1件は土地収用法が告示され、任意交渉を継続しつつ、国が手続きに入った。インターチェンジの

名称は開通年月日の確定時に決定する。

農業振興地域除外

IC付近の土地利用は、農業振興地域指定エリアを、H23年度計画見直しで解除したい。法律が昨年12月に変わり一定の計画を持って除外申請しないと受付けてもらえない。利用可能な土地は計画構想を作り事前に外した方が、今後有利と考えられる。



まもなく開通尾道松江インター

公共下水道事業調査特別委員会

住民の意思確認を図る

加入促進・接続の状況

すでに供用開始した区域内は申請者以外の方家庭を戸別訪問して接続のお願いをしている。

住民説明会の意見

- 高齢者世帯の年金暮らしにとって接続は負担増である。
- 家が密集していて工事費が高額。配管するのに困難な状況にある。
- 認可区域はどうしても接続しないといけないか。



公共下水道アクアステーション

委員から質問

- 他にも色々な意見がなされたが、多くは高額な負担金・費用への質問であった。
- H22年3月1日までの申請件数は、一般家庭63戸・事業者4者・アパート2棟・甲山中学校・甲山文化センターの合計71件。
- Q** 加入把握し工事をすべきだ。
- A** 高齢者への調査はしていない。枡を設置した所から促進してきた。

Q 企業経営として莫大な投資。説明手順に問題があるのでは。

A 根拠のある事前調査の資料が必要。測量設計により加入率の判断となる。

Q 独立した企業体として意識し仕事をすべき。

A 事業は基本的には町が責任をもつてやる。

物品購入等調査特別委員会

導入に疑義

各公共施設でのコピー機のレンタル、更新に関して、競争原理と公正な競争がなされていない事実が発覚した。その事を重く受け止め、議会として調査の必要性があると判断。特別委員会を設置し調査する事とした。



高機能コピー機の導入

一般質問



町政の課題



安心できる介護を！

●西田 全国に3千人を超える公明党の全議員が「介護総点検」に取り組み、多くの問題点があるなか、本町に關係の介護問題について伺う。



西田美喜男議員

Q 安心できる介護の実現を
A 安心介護、高齢者施策に努める

- ①介護保険事業計画の推進状況。
- ②要介護認定のあり方
- ③介護サービスの充実
- ④介護家族・高齢者世帯などに相談体制の設置
- ⑤保険料などの負担軽減。
- ⑥高齢者のための福祉施策。

- 町長 ①第4期介護保険事業計画の計画値と給付費に大きな乖離はなく推移している。
- ②包括支援センターで柔軟に対応している。
- ③認知症対応のグループホームと特定施設の介護付き有料老人ホームの開設を計画。
- ④総合相談窓口の地域包括支援センターを中心に、医療・福祉・介護など連携体制の環境整備に努めている。
- ⑤本町は、県内で一番安い保険料に設定できた。また、低所得者層の保険料負担の軽減に配慮している。
- ⑥災害時要援護者避難支援制度で個人情報提供をいただき「安心カード」の活用や情報の有効な管理・活用を検討する。



介護現場 声を聞きとり

Q 在宅医療廃棄物の処理は
A 周知を徹底していく

●西田 在宅医療廃棄物に関する取り組みをどのように進めるのか。

■町長 在宅医療技術の普及に伴い、一般家庭から廃棄物が発生するようになってきた。近々、ごみの正しい「分別」と「出し方」について、15分程度、ケーブルテレビで放映する。その中でも医療廃棄物について分かりやすく説明していく。



松本秀治議員

●松本 尾道松江線の一部開通が間近に迫っている。企業の誘致合戦に勝てるような施策で「世羅町に来よう」と感じられるような考えは。

■町長 尾道松江線の世羅までの一部開通は観光・ビジネスそして町民に大きな変化をもたらされると考えられる。町として、この機会を逸することのないよう、独自の政策を打ち出す必要があると考えている。

現在、農外企業の農業参入に対する関心が高く、本町の方向性として企業の農業参入を

Q 企業誘致の基本的な考えは
A 独自の政策を打ち出すことが必要



新設された三原興生病院の屋上ヘリポート

積極的に進めていく。数社の問い合わせもあり実現化していききたい。

Q 当町の緊急対策は
A 迅速な対応が出来るよう考える

用事業で、ヘリポート整備予算が上げられたが、設置場所に関しては執行者と温度差が感じられる。

緊急ヘリポートについて基本的な考えを伺う。

■町長 火災発生時、大災害時、救急使用とその目的に応じた使用になると考えている。訓練以外のヘリポート使用については、人命に大きく関わってくるので、関係機関と連携を図り迅速な対応が図れるよう対応する。



徳光義昭議員

●徳光 世羅台地の素晴らしい丘陵地に、クロスカントリーの整備を提言する。

世羅は県の中心で、尾道松江線・フライトロードが開通すると四国を含め、中国5県の中心地になり、ジュニア・シニアのクロカン愛好者は多い。

Q 農村公園化の具体化は
A 町民の知恵と提言を



学校施設 どう活用するかが課題

本町の一番の宝は、世羅高校の駅伝で、今後、強豪校としても施設整備が重要である。

■町長 計画段階から町民に提言をいただき、農村社会の姿をイメージし、町外の人々が住んでみたいといえる理想郷を描きたい。

世羅高校の駅伝は国・県の大変な宝で、駅伝の里にふさわしい姿の中で、クロカンのコースが必要であるが、町民や関係者の知恵と議論をいただきたい。

Q 小学校廃校舎の有効活用を
A 地域力向上の拠点に

●徳光 廃校舎に自治センターを移設し、小学生の放課後児童クラブと高齢者のスポーツやサロンの利用に。プールを野菜生産などに活用しては。

■町長 貴重な財産で地域力向上に新ビジネスの創出で、地域の財源確保ともなる。

Q 世羅町合併10周年記念事業を
A 町民と祝い合う

●徳光 町政施行10周年記念事業への、町民意向調査の実施を。

■町長 前進する世羅町を町民と共に確認し、祝い合う節目として、10周年記念事業は素晴らしい。多くの町民参加で祝い合いたい。



シャボン玉で遊ぶ子供たち（せら夢公園）

●仲行 広島県はH22年度より、産業振興を軸に過疎地域の支援策



仲行 洋議員

として、希望する市町に地域の「未来創造計画」の提出を求め、効果が高いと見込む施策へ、総額2億円を交付する事業を行うとしている。

本町のこれからの町づくりにとって有効な

Q 「未来創造計画」支援事業にどう取り組むか
A 「全町農村公園化」構想で計画策定

ものであると思うが、この制度の活用に取り組む用意はあるのか。

■町長 この事業のねらいは、魅力ある中山間地域の形成に向けて、産業対策を基本とした総合的な対策が円滑に実施できるよう、市町の重点的な取り組みを支援するものである。

本町においては、新年度予算に「未来創造計画」策定に向けた予算を計上している。

町民と一体的な取り組みの中で、計画策定をする。

計画の中では、町の将来像を「全町農村公園化」として、ハード・ソフト事業の既存事業と新規事業を積極的



能登哲夫議員

Q 指定管理者選定の経緯は
A 選定委員会の採点結果で

●能登 八田原グリーンパークの指定管理は、期間が満了し新たに指定されようとしている。

現管理者は施設の再整備と広報に努め人気知名度も向上し、利用

客は増加の傾向と聞く。また「アートクラフトまつり」は中国地方では屈指のイベントに成長しつつある。

今回の指定管理者選定では、新規事業者が選定されている。

選定の経緯で、実績評価はどうだったのか。逆に、新規事業者を選定した根拠、経緯は明確にすべきだ。

■町長 選定の方法は

に展開することで、魅力ある世羅町を創造する計画づくりに取り組む。



新たに指定管理された八田原グリーンパーク

条例規則、募集要項に基づき、世羅町指定管理者選定委員会が総合的に審査、評価している。

八田原グリーンパークについては、11月に公募し、2社の応募があった。

選定委員会委員の採点の結果、点数の高い事業者を選定した。

- の提出がありません。質問項目の記載にとどめます。
- （質問項目）
- 1 世羅町行財政改革推進プランについて。
 - 2 ヘリポート移行について、説明は問題ないか。
 - 3 地積調査について。当町では、正規に公正にしているのか。地積調査の意を聞きたい。

【休載のお知らせ】

●安佐長秀議員は原稿

Q

ケーブルテレビの充実を

可能な限り期待に応えたい

●豊田

①世帯加入率は②町内の出来事や行事は毎日放送を③甲山城山の定点カメラの有効利用を④議会予算決算及び重要案件の委員会中継を⑤天気予報や災害予防放送を。

■町長

①71・2%②可能な限り期待に応えたい③交通渋滞などに



豊田 勲議員



ケーブルテレビ番組編集中

Q

町づくり基本条例制定を

A

機運を盛り上げ進めたい

●豊田

地方分権で自己決定、自己責任の方向が進んでいる。これに対応するには、町民・議会・町が一体となってその役割に基づ

利用したい④関心の高いものを放映したい⑤NHKへ世羅の天気予報要請。災害放送は実施。

Q

宇津戸の臭気対策は

A

豚糞は焼却に切り替える

●豊田

①第3牧場の改善はどう進展か②第4牧場はどうする③養鶏場の糞堆積場は密閉に、臭気は水洗処理し土中に放出を④新年度に臭気の解決を求めたいが、予算は。

■町長

①豚糞を堆肥でなく、焼却する施設を建設中②第3牧場の改善を検証し推進③堆積場をシートで覆い大量に積ませない④国の補助は確保可能。

いて、協力・共同が必要であり、自治基本条例制定を求める。

■町長

町の憲法であり充分な議論と合意形成、各種施策・条例との整合性が必要。条例制定へ向けた機運を盛り上げ共通認識を得ながら進めたい。

Q

定住促進と助成は

A

すぐさま大きな効果は現れない

●岡田

本町に永住するため家の新築をされる方に、町が助成をするれば多くの方が来られると思うが、定住促進の制度設置の考えはな

■町長

いか。例えば、固定資産税を免除するとか。



定住促進に有効活用を！

Q

子ども手当地方負担は

A

一般財源は2千4百13万円

●岡田

政府がH22年度予算案で子ども手当財源の一部を地方負担とする点について伺う。本町に対象の子どもは何人で、金額は。そして、一部負担の持ち出しはいくらか。

■町長

対象児童は千7百17人で、一人につき月額1万3千円、年3回の支給で、4月から10ヵ月分2億2千3百21万円。町の一般財源は2千4百13万円になる。

児童手当分については、今までどおり、国・地方・事業主が規定により費用を負担する。中学生には全て国の負担となっている。

とから有効活用を図りたいと検討し、現在、調査を予定している。



岡田武士議員

きめ細やかな臨時交付金をもって、定住団地整備事業を予算化されたが詳しい説明を伺う。

■町長

空き家バンクを設置し取り組んでいるが、すぐさま効果が現れるものではない。今後、地元の協力を得て進めたい。

県警の東神崎宿舎が取り壊し予定と聞いており、町有地であるこ



望まれる子育て支援の充実

Q 公共事業の位置付けは

A 「持続可能な世羅町」に



永田英則議員

先行き不透明感は未だ拭い去れないので、引き続き公共事業を効果的に実施し、農業を中心とした「持続可能な世羅町」を構築していく。

Q 評価制度の考えは

A 人事評価は管理職が

●永田 世羅町人材育成基本方針に基づき、人事評価制度は管理職を対象に試行実施され、一般職実施後の事態状況、併せて行政評価政策評価の考えは。

●町長 人事評価は管理職において実施して、結果は昨年度から人事に反映している。評価制度は絶え

ず点検を行うことが、公正な評価を築くことになる。行政評価は、H21年度基本的考え方を作成して、H22年度から制度設計、研修、試行に取り組み計画をしている。

Q 本町の子育て支援の方向は

A 窓口一本化を再検討

●永田 ①児童デイサービス事業施設の方向と施設改修は②町外児童デイサービス事業利用者との通所費補助③障害児保育の確立を④町民課と保健福祉課の統合は。

●町長 ①現状のまま利用可能②児童デイサービス事業利用者負担金の助成を併せて実施する③相談員を中心に子育て支援を実施④関係部署でメリット、デメリットを出し合っている。

Q 不況下の財政と公共下水道は

A 過疎対策と再評価により実施



矢山 武議員

●矢山 不況対策の中、過疎が続く中での財政と重点対策はどうか。公共下水道と合併浄化槽のバランスと共同による設置を進めるべきでは。

●町長 応分の負担は必要でH22年度で新しい過疎計画を策定する。公共下水道は、再評価に基づいて、3千mの処理を進める。

合併処理槽の維持費は、県内で一町が助成しているが、本町では考えていない。



農業委員会窓口

Q 戸別補償と農業委員会事務局の強化を

A 所得向上となり事務局体制を確保

●矢山 米の転作を達成した農家への戸別所得補償が本年から実施されるが、これで展望が開けるか。不作付地への対応と今後の取り組みは。転用許可の仕事や農業委員の仕事が増加

し、体制の強化が必要では。

●町長 所得の向上となり、不作付地は改善計画により認定。事務局は、権限移譲などで事務量が増大するため、臨時職員等により対応したい。

Q 健康づくりと医療費負担は

A 通院負担について協議

●矢山 健康への対応の強化で、体力維持や意識の向上が必要で、検診の向上と現況はどうか。

病気の早期発見と治療の負担を低所得の方について軽減を考えるべきではないか。

●町長 千9百人の受診があり、ニーズに即した事業内容を検討。限度額適用認定証により入院に対応しているが、通院治療について協議したい。負担の軽減を検討。

Q

公営企業に管理者の配置を

A

管理者を置かなくても支障はない

●福田豪 公営企業である上下水道事業には、条例の定めで管理者を置かず、町長が直接その任に当たるとある。

一方で、多額の投資をして、しかも受益範囲は限られる。さらに加入率は決して高いとはいえない。



福田 豪議員

そこに管理者を置くことは費用の増大につながる。また現在の運営で支障があるとは考えていない。

「公共の福祉」を目的とする公営企業には、管理者を配置し、透明性をより高めることを求める。

■町長 独立採算を基本とする公営企業の実態は、一般会計からの繰入金で成り立つ状況で、本旨からかけ離れていると言わざるを得ない。



公営企業さかえ浄水場

Q

県道「府中世羅三和線」の改良を

A

町独自の検討も必要

●福田豪 過疎と高齢化がすすむなかで、周辺部の立ち遅れた道路網の整備は、不便を強いられ、失望にも似通った不安も禁じえない。

とりわけ、県道「府中世羅三和線」は、伊尾から青近間は計画されない。広島県の道路計画の見直し年であり、本町の新過疎計画の策定年でもあるH22年度、道路整備計画の確立を求める。

■町長 H22年は広島県の「新たな道路計画を検討する時期」と聞き及ぶ。

現道拡幅だけでなく選択肢として町道利用も検討して頂くよう、強く要望したい。また、独自の検討が必要と考える。



福田義人議員

●福田義 ①新年度に景気雇用対策をどのようにするのか。
②企業誘致・雇用確保の取り組み。
③少額物品購入は町内業者に随意契約をして

A

H22年度も雇用対策を促進

Q

新年度予算と景気対策は

は。

■町長 デフレは長期化が予想される。

①経済対策交付金を活用した公共事業の前倒し、地域商品券の発行による消費拡大などを行った。企業訪問後に回答している。

②企業誘致・雇用確保は農外企業の立地促進を継続的に行っている。引き続き雇用対策



にぎわいを待つ夢公園

に努める。

③少額物品入札は、引き続き税の効率化のため現状とする。

Q

全町公園化構想の促進は

A

農村社会の理想郷の実現を

●福田義 過疎法が6年間延長され、県の重点事業として「未来創造計画」を策定。町は行革の推進で財政再建も成果をみた今、5～10年後の未来を創造することが重要。そこで、町長の提案する全町公園化構想の取り組みを聞く。

■町長 県の新規事業に「未来創造計画支援事業」が盛り込まれ、本町も未来創造計画を作成する。そのことが全町公園化という、安心・安全で豊かで美しい町、農村社会の理想郷を実現していききたい。



青山から望む田園

Q

新町建設計画は見直す
時期では

A

新過疎計画で見直す



中村幸雄議員

●中村 合併して5年が経過した。合併協議に置いて策定された、新町建設計画における事業計画は、具体化を図れない状況があるが、見直す時期ではな

いか。

■町長 事業の一部について凍結、繰り延べという措置を行ってきた。現在の進捗状況は事業費ペースで71%、事業項目で66%の実績である。未執行事業については、今後、新過疎計画策定の中で事業を見直し、検証を行っていく。

Q

今後の農業
施策は

A

農業振興計画を策定

●中村 農業の担い手の確保につながる、10年後の世羅の農業を目指す農業施策は、今後どのような展開をするのか。

■町長 高齢化の進行と若年層の都市への流出による、後継者不足が深刻な状況になっている。H22年度から新規に

後継者を育成する事業を創設し、10年後の地域農業、及び集落のリーダーとなる後継者を育成・確保する。

農地法の改正、米の戸別所得補償モデル対策など、農業施策が大きく転換する時期、10年後の世羅町を見据えた農業振興計画を策定する。今後、農業に携わる人材の育成確保を重要なテーマとして、世羅町農業の創造を図っていく。

Q

地域に効果のある農業振興を

A

野菜生産の拡大と供給の
仕組みづくりを



奥田正和議員

●奥田 世羅の土地と気候を生かした農業は県内でも羨ましがられ

ている。米依存型から脱却できず高齢化で悩んでいる。補助金頼みの農業であるが、失敗をおそれず野菜振興によりブランド確立に努力すべきだ。

■町長 どの産直市も順調な売れ行きで企業

Q

少子化対策
は何を行っ
ているか

A

子育ての悩み
や不安の解消
に努める

からの開設の意向も複数ある。生産者増と年間を通じての出荷体制を整備する取り組みが必要であり、野菜栽培農家のネットワーク化や供給メニューの作成などすすめたい。



安心できる子育て支援を！

町長が以前に提案された、夜の人口増への取り組みはどうなっている。

三世代が同居できる環境づくりが必要だ。

■町長 特色ある教育施策として、新年度予算に色々と計上している。

保育所は効率的に運営しサービスの質的向上と子育て相談機能の充実を行う。

在宅での子育て支援は相談員による子育て広場、保健士による乳幼児健診などの機会を活用する。

国の制度を利用し定住策をすすめていく。

皆さんからの

陳情と請願

このように決めました

■採択したもの

◎最低賃金法の改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める

広島県労働組合総連合 議長 尾野 進
パート・臨時・嘱託労働連絡会 会長 大内 理枝

◎新川通りU型側溝（未施工部分）施工を求める

要望者代表 和泉谷吉昭
（賛成15・反対0）

■採択しなかったもの

◎電気設備工事の分離発注を求める

社団法人広島電業協会 会長 細田 順弘
（賛成4・反対11）

◎公契約条例制定及び公契約における公正な賃金・労働条件の確保を求める。

広島県労働組合総連合 議長 尾野 進
パート・臨時・嘱託労働連絡会 会長 大内 理枝
（賛成7・反対8）

議員提案（発議）

発議第1号

最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書提出（提出議員・中村幸雄外4名）

安定雇用の創出と最低賃金の改善、中小企業への支援対策などを求める意見書を、政府に提出する。（可決 賛成9・反対6）

発議第2号

公契約における公正な賃金・労働条件の確保を求める意見書提出（提出議員 福田義人外3名）

公契約における公正な賃金・労働条件の確保を求める意見書を、政府に提出する。（否決 賛成6・反対9）

発議第3号

天皇陛下御即位20年を奉祝する賀詞（提出議員・中村幸雄外3名）

自治功労者表彰

2月17日、広島県町議会議員研修会で、自治功労者表彰が行われた。世羅町議会から、永田英則議員が、14年以上在職者で表彰された。



第1回 第2回 臨時会

《主な内容》

第1回臨時会 H22. 1. 26

1. 中央自治センターの指定管理者の決定
2. 総合小学校の校名決定
「宇津戸・中央・伊尾・東」小学校 → せらひがし小学校
「大田・大見・西大田・津久志」小学校 → 世羅小学校
3. 一般会計補正（第8号）
ハイチ地震救援金、債務負担補正。

第2回臨時会 H22. 2. 19

1. 津久志自治センター、大田自治センターの各指定管理者の決定
2. 一般会計補正（第9号）
国は「地元企業に優先的に発注し、社会資本を整備する」ことで、生活に密着した地域の活性化を図り、またH22年度当初予算と一体的に運用することで、きれいな経済対策とするため第2次補正予算を決定した。これを受け、街路灯改修、道路維持工事、学校統合関連など、3億2千万円余を増額。

指定管理者の決定には、議会の議決が必要。また4月からこの制度に移行するには予算あるいは債務負担行為などの諸準備も必要。こうしたことを中心の臨時会となった。

4月から自治センターが指定管理に移行する。また指定管理者はそれぞれ地元の自治組織となる。

一定の制約はあるものの、利用は自由で、使用料も自らの収入とすることができる。役場は、電気、水道、保険など基本的維持管理料

を負担する。こうした負担が複数年に渡る場合は、その期間中の予算を保障するため債務負担行為の議決が事前に必要となる。

このように①指定管理者の決定。②H22年の予算化。③債務負担行為の決定が急がれることから、1月には中央自治センター、2月には津久志と大田の各自治センターの指定管理関係の議案を中心に臨時会が開かれた。



「紅葉連」連長 阿部 哲壮さん

知人の紹介で徳島の阿波踊りを、その踊りに感動し

酔いがさめなかった。

この阿波踊りが世羅で出来たら、町が賑わうのではと、仲間と見様見真似ではじめた阿波踊り。やり始めると奥が深く、再三教えを請いに徳島に行った。

その様子を有名連の指導者は「全国から多くの愛好者が、阿波踊りを習いに来たが、阿部さんが一番阿呆じゃ。」と熱の入れようを話された。「四百年も続いている阿波踊りには、体の奥底から湧き上がる『ぞめき』を感じる」と、阿部さんは熱く語る。

毎年4月下旬に徳島で開催される「はなはるフェスタ」「阿波踊りコンテスト県外連部門」に、初回から参加している紅葉連は、今年で7年目になります。その間の、2007年には優勝され、以降も上位入賞されている。

その優勝のお礼にと、紅葉ゆかりの宮島へ行き、表参道を踊って進んだ。「紅葉をデザインした紅葉連の浴衣」その光景が宮島の紅葉のイメージとマッチし、観光客や、商店街の人から喝采を受けた。

偶然に下蒲刈の、「朝鮮通信使祭り」

の関係者の目にとまり、下蒲刈町で公演。この公演が、釜山市から来ていた韓国舞踊団の目に留まり、釜山市から「韓日朝鮮通信使交流祭り」に招待され、今年で3年（今年は中止）になる。無から始めた阿波踊り。楽器・提灯・太鼓・鉦などのひとつひとつをそろえた。

最近では、地元の「町づくり大会」や「甘日えびす」など、各種のイベントや祭りなど出演する機会も多くなり、始めは苦手だった地元公演も、暖かい声援を励みに活動が出来て、皆様のお陰と本当に感謝している。今年の目標は、「はなはるフェスタ」県外連部門で優勝。東京や大阪の連に負けない、高い目標を掲げ活動したいと話された。

（福田義）



イベントでも大好評

紅葉連では一緒に踊る仲間を求めています。

表紙紹介



2月28日に行われた、世羅町「安全と安心のまちづくり大会」せらにし・おおた・こうさんの各保育所の園児により構成されるハロースグナル。信号機の赤・黄・青を帽子の色で表した園児の皆さんによる、元気な演技を紹介します。

編集後記

「命を守る予算」と銘打った首相。

それとは裏腹に、公立小・中学校の耐震化や女性特有のガン検診に関する予算が大幅に削減された。

子どもと女性の「命」に関わる「待ったなし」の対策であり、国が全力で取り組むのが当然である。

「政治行動は、一つの社会を助けて、出来るだけ良い未来を産ませる産婆でなければならぬ。政治の役割は、母と子を救うことである」と、フランスの作

家、アンドレ・モロワは言っている。

「政治の役割」を果たすよう、現政権に明確な発信が求められる。

さて、「議会だよりせら」も21号を迎え成人となった。

議会広報研修会で、全国コンクール入賞にあと一步と評価をいただいた。

今一度、原点に立ち返り、「読みやすく、わかりやすい」議会だよりになるよう努めてまいります。

皆様のご意見をお待ちしています。

（西田）

議会を傍聴してみませんか
次回の定例会は6月です

日程は無線放送でお知らせします。またケーブルテレビでも本会議の中継をしています。

委員長／福田 義人
副委員長／松本 秀治
調査特別委員会 委員／西田美喜男・安佐 長秀
福田 豪・奥田 正和

議員の寄附は罰則をもって禁止されています。議員に寄附を求めることも禁止されています。年賀状など（答礼のための自筆によるものを除く）を出すことも禁止されています。